

オゴノリング大作戦 ～中海のローカルSDGs～

2022. 11・05 中海自然再生協議会シンポジウム 島根大学教育棟
認定NPO自然再生センター 副理事長・Officeマネージャー 小倉加代子

「環境」「人」「お金」
の循環をオゴノリを活用して
実現したい！



寄附の種類	口数	H
賛助 (個人)	213	1/3
賛助 (団体)	480	16/17
一般 寄附	¥640,939	8/7
	182件	8/9
達成率 (目標)	66.7%	1/21

目標 200万円
現在 1,333,939円



【オゴノリング事業の変遷】

課題解決

島根県、鳥取県

中海の海藻刈りによる栄養塩循環システムモデル
構築事業支援補助金
2011～2016 6年間



自立強化

(一財) セブン-イレブン記念財団

環境市民助成 NPO自立強化助成
2018～2020年度



企業との協働

積水ハウス株式会社 (SDGs)

積水ハウスマッチングプログラム2021年度
メルカリサーキュラーエコノミリーダー



市民参加

市民参加のフィールド 畑部
インターンシップ・学校給食 (鳥取県日南町)
ローカルSDGs (地域循環共生圏)

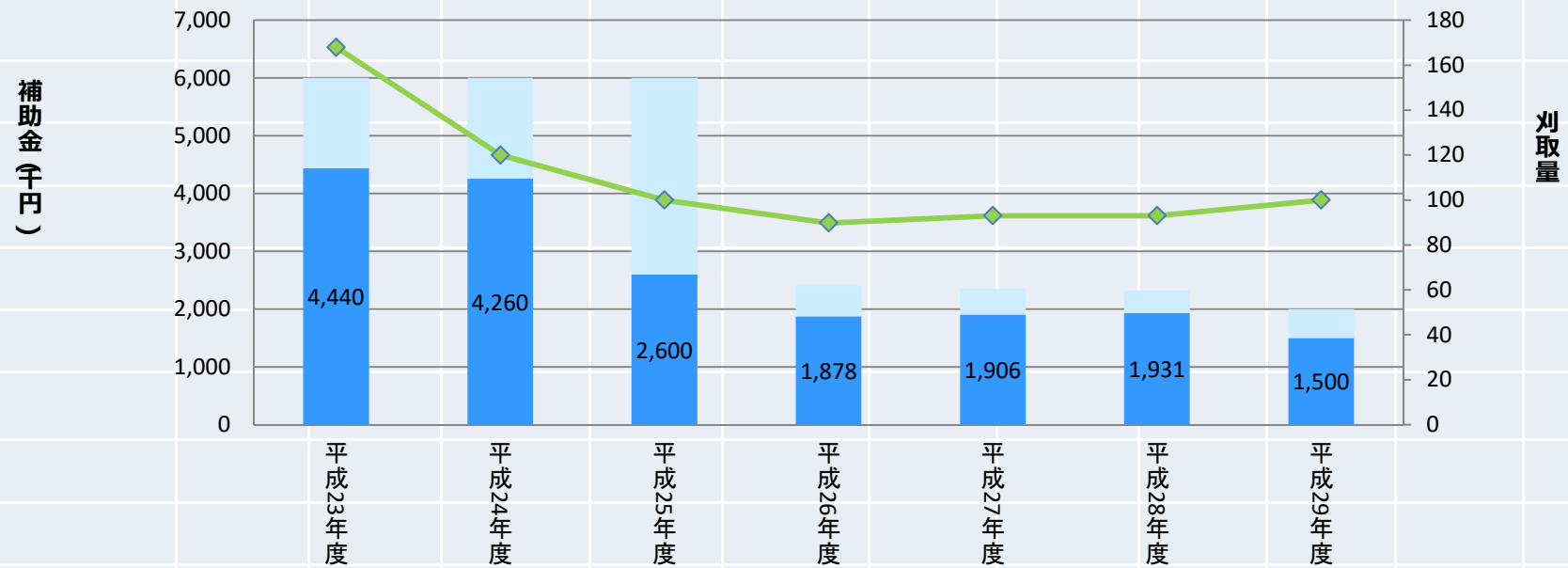
「オゴノリング」
という名称を付けたのは
セブンの時から

環境 (社会) に合わせて . . .

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
刈り取り量 (t)	168	120	100	89.8	93	93	100	36	7	1.2	無し	

補助金	600	600	600	240	235	232	200					
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--	--	--	--	--

藻刈り年間刈り取り量



中海の未利用資源である 海藻の活用による地域づくり

循環型社会の再構築 (自然、人の関係性、資金の循環)

自然再生、自然環境をつかっの次世代育成
行政も参加していただきたい

OGONORING RELATION MAP

ver 1.0



①収入バランスの取れた事業

- ・ 寄付と支援の増加

→ ドネーションキャンペーンの実施と成果、ツールとしての農作物の確立

- ・ 自主事業の増加（委託事業に依存しない）

→ 研究費・助成金の申請（積水ハウスマッチングプログラムに採択）

- ・ 地域循環共生圏（ローカルSDGs）鳥取県日南町農業法人へ土壤改善肥料を販売



②人々にふるさとの水辺が提供できる循環型事業

- ユネスコスクール加盟を目指す地元中高一貫校や、工業高等専門学校と共に活動するように
- 農作物が地域の店舗（パン屋等）で販売されることで市民が循環型の作物や加工品を購入できる機会を提供→ 選んで消費できる市民
- センターの「畑部 部活」の創設により会員が循環型社会構築へ参画
- 積水ハウスマッチングプログラムに採択され、企業社員と活動する予定

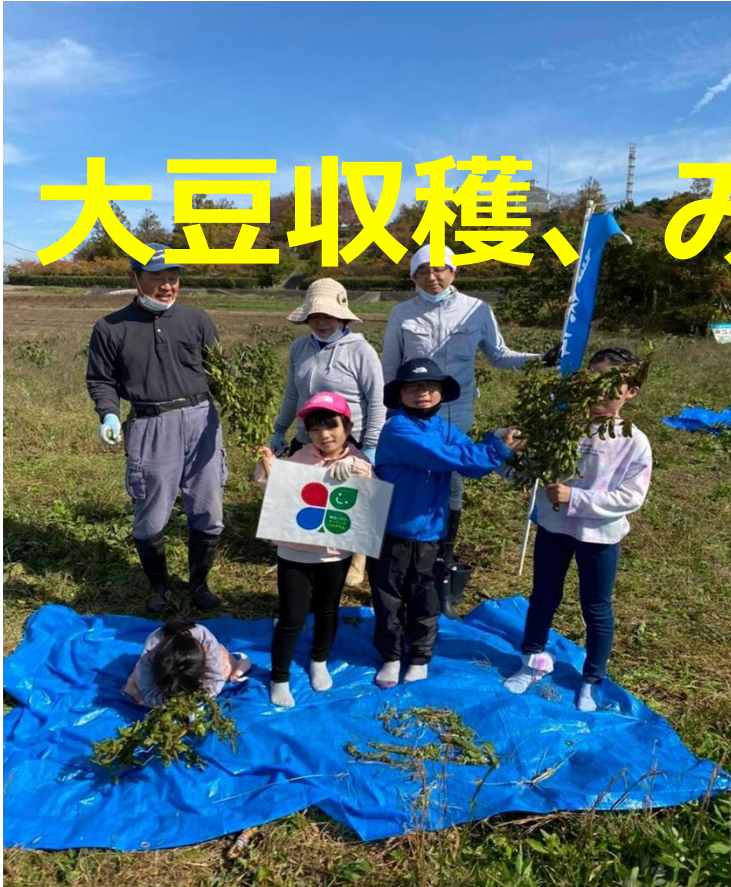


さつまいもの収穫、販売



パン屋・ケーキ屋さん (3軒)

大豆収穫、みそづくり





③ 中海・宍道湖とその流域の自然再生・循環型社会を再構築するために住民・企業・行政・専門家と展開し未来につなげる事業

→ 海藻や環境社会学の専門家と研究費（JST）の助成金申請に挑戦

➡ Panasonic 富士通とのプロボノ

➡ 農水省・毎日新聞社から応募の誘い



学校給食 オゴノリ米になる！



【効果・展望】

今までの経験からキャリア教育に繋がる手ごたえ



- オゴノリングのフィールドを使った
地域人材の育成
活動のキャリア教育効果のエビデンスをとる
- 企業との協働（助成金・プロボノ・賛助会員獲得）
企業研修やリフレッシュの場も視野に入れた
市民・企業を巻き込んだ多様な関わり

- ・鳥の目と虫の目のバランス
- ・手続き的公正と信頼を基盤
- ・そのことによる社会的受容の獲得

何をすべきか以上にどのようにすべきか
 ・2022自然再生センター総会資料菊地直樹
 (金沢大学准教授)

	①鳥の目	②虫の目	③分配的公正	④手続き的公正	⑤信頼	⑥社会的受容	⑦相乗効果
Q1 教訓		●					
Q2 意義		●		●			●
Q3 目標年代	●	●		●			●
Q4 先駆性	●	●					
Q5 課題				●	●	●	●
Q6 大事な事項				●		●	
Q7 住民・行政への期待		▲					
浚渫窪地	●		▲				
オゴノリング	●	●	●		●	●	●
食を広めよう会		●	▲		●	●	●
生きもの観察会	●				●	●	
環境教育	●	●	●			●	
参加の方法(寄付)			▲	●	●	●	
ガバナンス強化				●	●	●	

(中海自然再生協議会の実施計画事業)

自主事業 オゴノリング

- ・どこからでも参加しやすい
- ・年代、興味の幅が広い
- ・住民主体
- ・事業費は、小さい

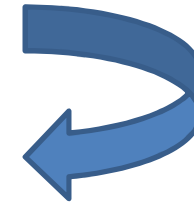
人は巻き込みやすいが
グローバル貨幣✕



委託事業 浚渫くぼ地事業

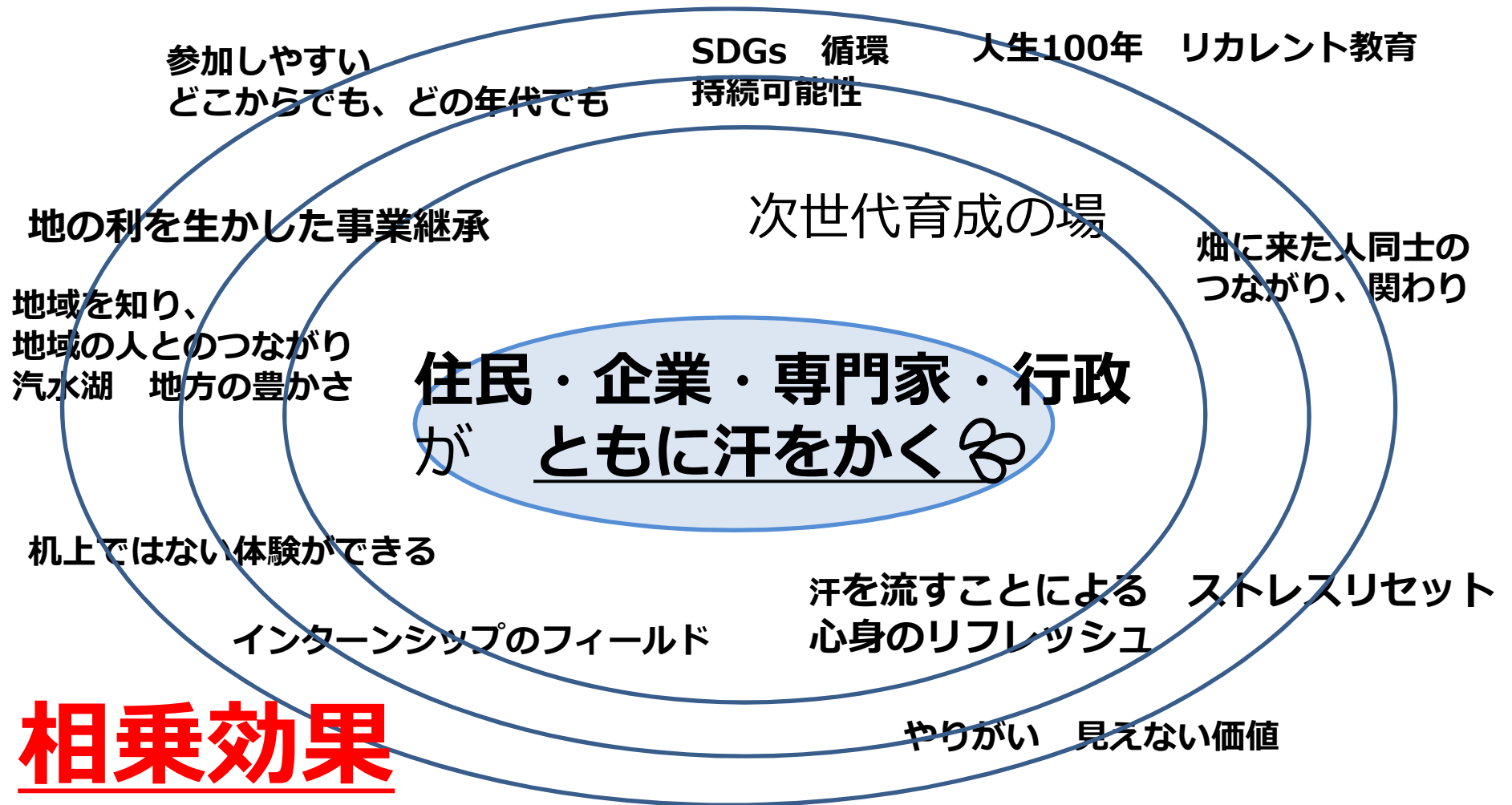
- ・難しい、理解するのに時間がかかる
- ・研究者主体
- ・事業費としては、大きい

人は巻き込みにくい
がグローバル貨幣○



強みと弱みを補い合いあう

伝統的手法による 自主事業 オゴノリング



フィールドを作りコーディネート

令和4年度自然再生協議会全国会議 開催概要

主催：環境省 自然環境局 自然環境計画課

開催日時：令和5年1月24日（火）

会場：沖縄県

午前の部：石垣市八島町（八島町部会ヤード）及びその沖合

午後の部：竹富町役場

～ 意見交換 テーマ ～

・3つのグループにわかれて意見交換

1：若い参加者（新たな参加者）を増やすための工夫

2：様々な立場の団体が参入するメリットと課題解決について

3：一般にむけた自然体験活動の実施の工夫と課題解決について



ありがとうございました